

2012年 2月のアンガージュマンの予定

利用は会員となり、フリースペース、キックオフプロジェクト、相談・コーディネート、学習サポート等をお選び下さい。まずは電話などでお問い合わせ下さい。見学も大歓迎！

月(Mon) 火(Tue) 水(Wed) 木(Thu) 金(Fri) 土(Sat) 日(Sun)

カレンダーの見方 amは10:30～ pmは1:30～ は閉室の印ですが 事業により行います		1 12:00 昼食会(300円) 学習サポート	2 pm スポーツ 学習サポート	3 am 農業体験(長井) pm 豆まき @諏訪神社 学習サポート	4 不登校相談会(別紙参照) ネクスト 番外編	5
6 am yukoと英会話 会議の為 フリースペースは 3:30に閉室です。 学習サポート	7 14:00 GO!GO!囲碁 学習サポート	8 12:00 昼食会(300円) pm 2:00 ボランティア ミーティング 学習サポート	9 am 詩を読もう pm カラオケ(3h 580円) 学習サポート	10 am マンガを 語る NPO映像祭 学習サポート	11 ネクスト番外編は お休みです。 のたるんフェア & ドブ板バザール	12 2:00 保護者会 ~4:00 終了
pm あばうと ミーティング pm 散歩 山形物産市 (はるかぜ書店前) 学習サポート	14 am お菓子作り 14:00 GO!GO!囲碁 学習サポート	15 12:00 昼食会(300円) 学習サポート	16 リエゾン宅配 2月の お誕生日会 学習サポート	17 am 農業体験(長井) 学習サポート	18 ネクスト 番外編	19
商盛会 梅まつり						
pm あばうと ミーティング pm 散歩 学習サポート	21 pm 絵を描こう 14:00 GO!GO!囲碁 学習サポート	22 12:00 昼食会(300円) pm 国ってなあに? 学習サポート	23 社会見学 国会議事堂 学習サポート	24 学習サポート	25 ネクスト 番外編	26
am yukoと 英会話 pm あばうと ミーティング 山形物産市 (はるかぜ書店前) 学習サポート	28 14:00 GO!GO!囲碁 学習サポート	29 12:00 昼食会(300円) pm 乗馬講座 学習サポート	2/11,12は汐入の市民活動サポートセンターのたるんフェアにて、長井農業体験でお世話になっているマリーゴールドの会の販売をお手伝いします。また、ドブ板バザールでは山形物産の販売を致します。山形の農家の方もやってきます！皆さん、お買い物にいらしてくださいね。			

市内でコンビニ強盗などの事件が発生していることを受け、明るいうちに帰宅できるよう、あばうとの閉室時間を守って頂くことをお願いします。ネクストについても、出来る限り保護者の方の送迎をお願いしています。夜のフリースペースについては、当面の間休止いたします。

今月のボランティア募集 イベント	日付	定員	主な活動内容
フリースペース	土日祝日除く	5名	話やゲームの相手、ともに過ごす
物産市	2/13,27	3名	物品販売、品物陳列、チラシ配布
のたるん&ドブ板	2/11,12	5名	販売補助、チラシ配布
商盛会 梅まつり	2/13~15	5名	福引の補助
物産宅配	2/16~18	3名	検品、仕分け、梱包、配達
昼食会	2/1,8,15,22,29	3名	調理、盛りつけの補助
通信発送作業	2/28	3名	通信の折り、封入、封止め
下校時の防犯	平日		

参加希望の方はご連絡下さい。046-801-7881 担当 石川隆博

物品募集

小学校低学年用の椅子と机(座面の高さ30cm以下)ネクストで使用します。

理科実験機材(顕微鏡、アルコールランプなど)土曜ネクストで使用します。

お譲り頂ける方はネクスト担当までお願い致します。

アンガージュマンとはフランス語で社会参加という意

2012年(平成24年)

2月1日 発行

Le Engagement



NPO法人アンガージュマン・よこすか

発行所：〒238-0017神奈川県横須賀市上町2-4 電話：046-801-7881

http://engagement.angelicsmile.com/ 発行責任者：滝田衛 編集責任者：石井利衣子

http://blog.canpan.info/engagement/(ブログ) engagement@angelicsmile.com(メール)

第96号

harucafeオリジナルのあったかドリンク カボチャラテ 子ども達にも大人気！

寒い日にはあったかい飲み物が恋しくなりますよね。寒さ厳しい1月22日(日)、桜木町にある県立青少年センターではアンガージュマン・よこすかのharucafeが出張してかぼちゃラテとココアを販売しました。

その日は県主催の“子どもフェスティバル”。色々な団体が子どものために、ゲームを用意したり、子ども会の人やジュニアリーダー達がバルーンアートをしたり、はたまた科学の実験あり…。と様々な体験ができる子ども参加型フェスティバルでした。また最近TVで話題のKAGEMUのパフォーマンスや、超有名ロボットASIMOも観ることができたりと、充実のイベント内容でした。

さて、今年初参加の我々アンガージュマン。飲食ブースではharucafeが、そして体験・展示ブースではリエゾン団・はるかぜ書店が、山形物産や不登校・ひきこもりに関する書籍を販売いたしました。当初想像していたよりもたくさんのお客さんの子どもたちの姿にびっ

くりしました。おかげでかぼちゃラテとココアは完売！かぼちゃラテはめずらしかったようで、何人かの人に「これどうやって作るの？美味しい！」と言われました^^これを読んでいる皆さん、興味があったら是非是非、上町の“harucafe”へ足を運んで下さいね！甘くておいしいかぼちゃドリンク、飲めますよ～

参加して感じたのは子どもたちがみんな生き生きしていた、ってことです。科学の実験に目をまるくしたり、紙芝居を真剣に聞いたり、手作りのパチンコなどのゲームに熱中したり…。現代っ子は家に閉じこもってゲームやパソコンばかり？なんてとんでもない！普段はゲームに興じているのかもしれませんが、青少年センターに来ていた子どもたちは、昔ながらの遊びや科学実験に夢中になっていました。名前の通り、子どもが楽しめるお祭りになっていたと思います。

それに加え、たくさんの家族の温かな雰囲気思わず心

がほっこりしました。親子参加がほとんどで、科学のブースで作った万華鏡を「ほら、見て！すごい！」と親に自慢している子ども、「これ、美味しいよ！」と息子に言われ自分の分もかぼちゃラテを購入に来たお母さん、子どもの分の食べ物を抱えるお父さん、よちよち歩きの赤ちゃんを追うママ…。様々な家族の姿に触れ、親子で参加できるイベント、っていいなあ、としみじみ思いました。たとえ親子参加でなくとも、帰ってから「こんなことした！」「楽しかった！おもしろかった！」と、興奮して報告できるようなイベント内容だったのではないかな、と思います。

準備にあたふたした場面もありましたが、無事終わって一安心。アンガージュマンでも家族の会話のきっかけになるような活動ができたらなあ、と思います。日々の活動も充実させつつ、たまには親子参加のイベントも企画してみようか、と妄想が膨らんでいます (小幡沙央里)

さかのうえのねごと

石川隆博

「寒いな、起きるのイヤだな。もう少し布団のなかに…」と思うことが日増しに多くなった。この冬一番の寒さが日々更新されている。温暖化はどこにいったのか？ エルニーニョ現象?? 太陽では北極域で磁極反転が報告され、地球の環境変動にもつながっている??? 日本海側では、そんなことはおかまいなしに雪は降り積もり、例年の2倍の積雪を観測したところもある。雪に押しつぶされる不安、耐え忍び春を待つお年寄りの日々。会いたいな。さあ布団から出て、新潟県へ…。一日が始まる。

【基盤整備寄付の現状報告】感謝！ カンシャ！！ かんしゃ！！ の一言です。

1月元旦付で約80名の方々に本法人の緊急課題へのご支援をお願いしましたところ、本当に多くの寄付をお寄せいただきました。感謝に堪えません。ありがとうございました。

1月27日現在の基盤整備寄付(家賃補助) 16名 333万円

本法人の経営状況の厳しさには3点あります。第1には当初より法人の公的助成や寄付の少なさを代表が補填してきた点です。第2には震災以降の不況で利用者が減少し書店や宅配等事業収益が減っている点です。その結果、第3にはスタッフが給与を50%減額せざるを得ない状況(代表は元々無給)という点です。9年目の法人が子ども若者の成長を含め社会貢献度で大きく評価され、次年度も各種事業が大きく展開されていく中、この経営状況では次世代スタッフ(石井事務局長もキララ賞を頂く)に借金を背負わせることになってしまふのが最大の厳しさです。

本法人の社会貢献度からも、収益の半分約2千万円が寄付や公的補助で賄われ、今半分の2千万円が独自事業で賄われることが極めて健全な経営状況と考え、今回の寄付のお願いとなりました。本来NPO事業とは寄付によって運営されるべきですが、NPO法施行以来10年経っても寄付は集まらない状況です。本法人も例年100万円(横須賀元気ファンド70数万円入れて)に満たない寄付で、全体の2.5%程度で、寄付を求めることに躊躇してきた結果です。しかし、先に認定NPO法人化へ向けて寄付をお願いしたところ130名を超える賛同を頂き、今回重ねて基盤寄付整備寄付をお願いした次第です。

本法人が子ども若者の課題解決に進み、新たな地域社会建設に向かうためにも、互いの支えあいと絆を深めお互い様の確かさを実現することを強く願います。代表・理事長としても痩せ我慢はせず、みなさんの親愛と信頼に支えられ、真に会員総意の法人として次世代にバトンを渡すため、確かな経営状況を構築していくことを確信し重ねてお願いいたします。

基盤整備寄付(家賃補助)が当初の目的を実現させ、4月以降認定NPOとして広範に寄付を求める事業を展開し、家賃は公的支援を実現すべく県市に積極的に働きかけてまいります。目標500万円に届きますよう、新たな方々の基盤整備寄付へのお力添えをください。一口20万円をお願いしております。4月以降本法人が認定NPO法人となりますれば寄付還元の措置が受けられます。認定NPO法人となれば寄付者へは約半分が還付となります。ご理解の上よろしくお願い申し上げます。(滝田衛)

ネクスト 自分の進路と向き合う時…。

1月初め、中学3年生を対象に高校入試の模擬試験を行いました。中学生は自分の進路と否が応でも向き合わなくてはいけない時期です。ネクストに通ってきている中学3年生も、自分なりに必死に進路、そして将来と向き合っています。

一人の生徒は前期入試の願書提出直前に進路の変更をしました。自分の実力、家庭状況等、様々なものと向き合った結果です。直前の土曜日ネクストにも訪れ、講師の先生に進路相談をしていました。こちらも持っている情報をかき集めて対応しています。必死に向き合ってる子どもたちに、こちらも必死にならざるを得ません。

この通信が届く頃、前期入試の結果が出ます。願わくば桜咲かん事を。

もう一方で、先月号でもお話しした学習のサポート体制の連携のため、ことばの教室へ行ってきました。実際にどんな問題意識をもって子どもと関わっているのか、どんな学習状況なのか、具体的に話を聞く事ができ、お互いにこれからの学習の参考になりました。先方も話されていたのですが、アンガージュマンやことばの教室、行政等が連携していくことで、子どもや保護者の方もより安心して学習、生活が送れるのかなと思います。そういった連携をこれから少しずつ積み重ねていけたらと思っています。(安倍 千央)

ボランティア あなたの考えるボランティアって？

ここ数ヶ月、ボランティアミーティングに参加できず、スタッフにお願いすることが増えています。ボランティアさんだけではなく、スタッフにもご迷惑をお掛けしている状況です。当法人と個人とのかかわりは、職員、利用者、研修生、研修スタッフ、OB・OG、卒業生、ボランティアなどなどさまざまな呼称が使われています。時として、混乱を生じさせることもあるようです。しばらく「当法人とボランティアについて」を考え、この紙面に記載して行こうと思います。ぜひ皆様からも「あなたの考えるボランティア」をお寄せくださいませ。一緒に考えていきましょう。(石川隆博)

リエゾン団 出張販売、売れ行きは？

1月は山形物産を持って、県立青少年センターとその別館青少年サポートプラザへ出張販売に行きました。上町とは違った客層で、普段はあまり売れないトマトピューレ・トマトジュースや横須賀産の乾物等が完売しました。上町でもこういう状況を作れるように、試食を色々出し、商品一つ一つを育てながら継続して行くことが必要だと考えさせられた1月でした。2月11日～12日に行われるドブ板バザール出店や、農業体験でお世話になっているマリーゴールドの会さんのお手伝いにのたるんフェアに伺ったりもいたします。ドブ板バザールでは山形県より数名の生産農家さんも参戦し芋煮などを行いますので、お時間があればいらしてみても如何でしょうか？(石川藍)

あばうと 辛い!美味しい!…痛い!? 久しぶりの再会も

以前にもお伝えしましたが、あばうとの女子の間では、相変わらずトムヤンクンが流行っております。みんな「辛い、美味しい、辛い、辛い、のどが痛い」と、いいながら食べております。僕は以前ハバネロを生で食したのですが、辛さというものは、度を越すと痛みに変わりますね。体温が急激に上がり、唇は爛れたように腫れ上がり、汗と涙を垂れ流して水をがばがばと飲むこととなります。水を飲み終わると、またすぐ痛みが襲ってくるのです。僕は二度とハバネロを食べようと思いませんが、みんなのトムヤンクン中毒は当分続きそうです。みんながまた食べたいと思わせる辛さがあるんでしょうね。今度、僕もトムヤンクン食べてみようと思います。

最近ピタゴラススイッチをフリースペースに作るうということになって、これからが楽しみです。最後に何のスイッチが入るのかまだ分からないのですが、来月に続報をお伝えしたいと思います。

今月一番嬉しかったのは、OBのS君に会えたことです。僕の中では4年前のS君しかなかったのに、立派な青年に成長した姿を見て、話して、とても感動しました。S君と4年前一緒に過ごした時間を、今改めて感謝しています、ありがとう。追伸 髪はぱっさり切りましたよ、S君。(助川英一)

はるかぜ書店&harucafe 他人と共に働くことの難しさ。

1月はキックオフ研修生の他に、横浜市の就労体験事業、不入斗中学校職業体験の受け入れを行い、2月は県立修悠館高校の単位認定プログラムの高校生も加わります。賑やかに色々な人の出入りする中で、改めて他人と共に働くことの課題を感じます。お互いに声を掛け合い、作業を分担し、効率を考えて動くこと。誰が判断し、誰の指示で動くのか。マニュアルの無いアンガージュマン流では、特にコミュニケーションが要求されます。遠慮と不安とマイペースの渦巻く店内…。スタッフは歯痒い思いもしばしばですが、それも一つの過程と捉えて、何とか自分なりの課題を見つめてほしいと思っています。(石井利衣子)



子どもフェスティバル

食堂は大盛況!

遠くにも「はるかぜ書店」で本が買えます!

はるかぜ書店で本を買おうと、若者達のサポートになるんだって? でも、横須賀は遠くて、なかなか行けないし…。という皆さんにオススメなのが「e-hon」です。出版卸最大手(株)トーハンの通販サイトだから、本の品揃えはバツグン。CDやDVDも購入できます。会員登録の際に「my書店」を「はるかぜ書店」に登録して頂くだけで、手数料を除いたお買い上げ金額がはるかぜ書店の売上となります。商品は1,500円以上送料無料で、宅配便でご指定の場所にて受け取れます。もちろん、はるかぜ書店での受け取りもOK。ぜひご活用頂き、就労支援店舗の運営にご協力下さい。まずは、「e-hon」で検索を! ご不明の点は、はるかぜ書店までお問合せ下さい。TEL 046-804-7883

3月18日(日) 就労支援ネットワークフォーラム へのご参加を

ひきこもりの理解支援の先駆者の一人である宮本みち子氏(放送大学教授)をお招きし、合わせて県内のNPO・若者サポートステーションが一堂にそろう、第10回目の就労支援ネットワークフォーラムを開催します。内閣府・神奈川県・横浜市・横須賀市が後援し、横須賀市長吉田雄人氏には開会のごあいさつをいただきます。(別紙チラシ参照下さい)

本法人も、この不況下にもかかわらず昨年来十数名の若者が“卒業”していきました。アニメ業界、県臨時職員、銀行、清掃、製造、カフェそして地元パン屋・調剤薬局。子どもたちも高校・大学・専門学校へ進学しました。中には自分でネットショップを…。みなさん若者らしく孤軍奮闘? 愚痴や自慢話を含めて今だに時宜を得て、夜のフリースペースやクリスマス会・懇親会で交流しています。

本フォーラムでは以上の本法人及びネットワークの成果、就労支援マップ・ホームページ・就労支援教本・就労研修体験集など等を公表すると共に、当事者及び支援者の思い、そして行政等との連携について様々な意見交換できる場として提供いたします。昨年3月で終了した「かながわボランティア活動推進基金21助成金事業」の集大成でもあります。若者、親御さん、支援者の皆様方のご参加を願います。(滝田衛)

不登校相談会 2月4日(土) 本法人からN.Kさんが発言します

6年目を終える神奈川県教育委員会とNPOの連携事業、学校フリースクール等連携協議会不登校相談会が開催されます。(別紙参照ください) 中学校3年間学校へ行かなかったN.Kさん、現在は修悠館高校2年生です。通信教育の大変さをもろともせず、ネクストでも勉強を重ねています。昨年、カフェカルチャーで吉田市長と懇談した折、教育課題を積極的に展開していました。今回、不登校経験者の立場からぜひ発言してみようということで登壇します。ぜひ、小中学生及び保護者の方、応援にご参加ください。